

第12回 放送大学千葉学習センター幕張祭

特別講演会 「ノーベル平和賞を受賞して 今あなたに伝えたいこと」

9月21日(日) 14:00~15:00 大講義室

日本原水爆被害者団体協議会事務局次長
千葉県原爆被害者友愛会会長

児玉 三智子さん

◆プロフィール

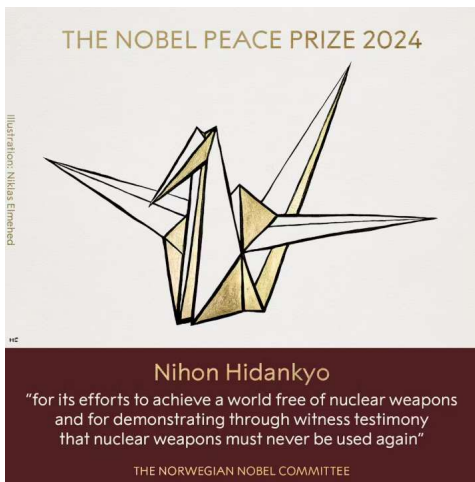
1938年 広島市にて出生

1945年 原子爆弾投下。 国民学校2年生・7歳爆心地から約4kmの木造校舎で被爆

2010年 日本被団協事務局次長

2019年 千葉県原爆被害者友愛会会長 現在に至る

被団協ノーベル平和賞



ノーベル平和賞の公式X(旧ツイッター)の投稿から

日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)は、核兵器廃絶に向けた彼らの長年の活動が評価され2024年ノーベル平和賞を受賞しました。このたび児玉さんに、幕張祭での講演を依頼し快諾してくださいました。みずからの被爆の体験と平和賞受賞式に出席した経験も含めて話していただきます。

児玉さんの言葉から

平和賞授賞は嬉しいです。同時にもう少し早かったらと思いました。長い被爆者運動をリードしてきた先人、仲間たちの顔が、声が浮かんできました。**現在残された被爆者は少なくなりました。**嬉しさと同時に重責を感じています。

戦争も核兵器もない未来へ

児玉さんの資料から抜粋

あの日あの時の体験 (きのこ雲の下での体験)

私は広島で被爆しました。当時7歳で国民学校2年生、木造校舎の中にいました。突然もの凄い光、あっという間に木造校舎の天井が落ち、窓ガラスが鋭利に割れ飛び散り教室の壁、机、床に突き刺さり、そして私にも突き刺さりましたが、幸いガラスが刺さっただけの軽傷でした。



主催 幕張祭実行委員会

ひとりでも多くの方たちに聞いていただきたいと思います。とりわけ若い人たちに。